

2、総会後の緑土会活動報告（前回幹事会後の約4ヶ月）

2-1、緑土会役員会・代表幹事会・総務会

- ① 平成28年度 第1回緑土会役員・代表幹事会 4月12日開催
- ② 平成28年度第1回緑土会総務会 4月27日開催
- ③ 平成28年度第2回緑土会総務会 5月10日開催
- ④ 平成28年度第3回緑土会総務会 6月22日開催
- ⑤ 議事内容
 - ・ 3月開催 幹事会の報告・反省（段取改善・資料配布方法・開催場所の確認など）
 - ・ 役員会・各部会の活動報告（3月幹事会後について）
 - ・ 学生支援会（仮称：関東緑土会）の開催内容・スケジュールの確認（メインテーマ）
 - ・ 幹事の見直し等についての意見集約
 - ・ 5月開催の緑土会学生支援会開催に向けての確認事項
 - ・ 11月開催の（平成28年度）総会開催に向けての確認事項
 - ・ 7月開催の（平成28年度）第2回緑土会幹事会に向けての確認事項
 - ・ 緑土会ホームページへの「会報りよくと NO1、2、3」掲載について
 - ・ 校友会からの学科同窓会支援費の取り扱いについて
 - ・ 緑土会運営費の今後について
 - ・ 緑土会広報活動の改善について（メーリングリストの活用）
 - ・ 3月、7月、11月開催の幹事会を定例幹事会と称すことについて
 - ・ 学年幹事の見直し等についてのアンケート結果について
 - ・ 幹事会開催時での懇親会の開催要望について
 - ・ その他

2-2、財務部会

- ① 緑土会運営費の今後について検討
 - ・ 経常費の収支支状況履歴、総会収支支状況履歴、繰越金金の履歴
 - ・ 校友会からの学科同窓会支援費の取り扱いについて
 - ・ 校友会総務委員会・事務局への確認結果
 - ・ 各企業・団体からの募金の取り扱いについて
 - ・ 会議費・旅費について
- ② 予算決算方式に変更についての検討
 - ・ 校友会支援費の取り扱いを含め変更案を検討
 - ・ 総会・幹事会の時期が予算案承認にマッチしていないことによる対応

2-3、広報・校友会部会

- ① 緑土会ホームページへの「会報りよくと NO1、2、3」の発行
- ② 幹事会・総会・緑土会セミナーについて緑土会ホームページにて広報活動
- ③ 6月緑土会セミナー開催、報告書作成による広報活動
- ④ 5月開催の緑土会学生支援会報告書作成による広報活動
- ④ 校友会活動の支援（幹事会・総会出席への啓蒙、議事録回覧など）
- ⑤ 各部会への積極的な関与による広報活動
- ⑥ 地方支部、同窓会などへの参加による緑土会活動の広報活動（8回）
- ⑦ 今後の広報活動の有効性向上のためにメーリングリストなど検討
- ⑧ その他

2-4、組織管理部会（組織・総会・幹事会担当）

- ① 平成28年度緑土会組織管理部会 6月30日開催
- ② 緑土会会員名簿作成による会員の組織化
- ③ 7月幹事会段取り
- ④ 幹事会の活性化に向けての学年幹事の見直しの提案・検討
- ⑤ 11月総会段取り

2-5、会報・ホームページ部会

- ① 平成28年度緑土会会報・ホームページ部会 6月21日開催
- ② 「会報りよくだ N01」 4月末 校友会ホームページに発行
- ③ 「会報りよくだ N02」 5月末 校友会ホームページに発行
- ④ 「会報りよくだ N03」 6月末 校友会ホームページに発行
- ⑤ 今後の会報・ホームページ掲載内容について検討

2-6、学生支援・セミナー部会

- ① 平成28年度緑土会学生会支援・セミナー部会（3月3日開催）
- ② 緑土学生会支援会 開催段取り
- ③ 緑土学生会支援会 5月13日開催

3、役員会・各部会の活動報告

上記「2、総会後の緑土会活動報告(前回幹事会後の約4ヶ月)」 以外に個別にて各部会より報告がある場合について、各部会長より報告を行いました

3-1、総務会より

- ・丸山総務部長

3-2、財務部会より

- ・皆川財務部会長（副会長兼務）

3-3、広報・校友会部会より

- ・小林広報・校友会部会（副会長兼務）

3-4、組織管理部会より

- ・平本組織管理部会

3-5、会報・ホームページ部会より

- ・黒沼会報・ホームページ部会長

3-6、学生支援・セミナー部会

- ・高橋学生支援・セミナー部会長

1、各部会へのフォロー活動と広報活動

- (1) 広報・校友会部会
 - ・顧問船越氏との打合せ（広報活動について） 2016.5.27 他
 - ・谷口校友会幹事との校友会活動について打合せ
- (2) 組織管理部会
 - ・平本部会長・萩原副部会長との打合せ
 - ・（平成28年度）第1回緑土会役員会・代表幹事会の件、ホームページ開催案内掲載、開催報告書作成掲載（20160412 開催）
 - ・7月12日幹事会の件、ホームページ開催案内掲載
- (3) 会報・ホームページ編集部会
 - ・黒沼部会長との打合せ
 - ・4月HP、5月HP、6月HP掲載内容の確認、ホームページ掲載
 - ・6月の会報・ホームページ編集部会への出席
- (4) 学生支援会・セミナー部会
 - ・高橋部会長との打合せ
 - ・3月の学生支援・セミナー部会への出席
 - ・学生支援会（緑土会主催）ホームページ開催案内掲載、開催報告書作成掲載
 - ・緑土会セミナーへの出席者勧誘と、開催報告書作成掲載
- (5) その他
 - ・（平成28年度）第1回緑土会 総務会 議事資料・作成（20160427 開催）
 - ・（平成28年度）第2回緑土会 総務会 議事資料・作成（20160510 開催）
 - ・（平成28年度）第3回緑土会 総務会 議事資料・作成（20160622 開催）

2、校友会緑土会ホームページを通じた広報活動

- (1) 「平成27年度 第2回緑土会幹事会」
 - ・「平成27年度 第2回緑土会幹事会開催のご報告」作成と掲載（3月15日作成、回覧3月22日依頼、実施済）
- (2) 「平成28年度 第1回緑土会役員会・代表幹事会」
 - ・「平成28年度 第1回緑土会役員会・代表幹事会開催のご報告」（4月21日掲載）作成とホームページ掲載
- (3) 「学生支援会（緑土会主催）（仮称：関東緑土会）」
 - ・作成とホームページ掲載 学生支援会（緑土会主催）開催のご案内（4月15日掲載）
 - ・インターンシップの勧め（学生支援会：緑土会）写真集（5月16日掲載）
- (4) 「平成28年度 第1回緑土会幹事会」
 - ・作成とホームページ掲載 開催のお知らせ（4月1日掲載）
 - ・作成とホームページ掲載 会場・開催時間の決定（5月20日掲載）
 - ・作成とホームページ掲載 議事次第の最終決定（7月4日掲載）
- (5) 「平成28年度 緑土会総会・講演会・懇親会」
 - ・緑土会総会報告 総務 丸山 収（S58 土木）（4月21日掲載）
学科同窓会だより（会報「都市」第3号掲載）の記事の中で広報
 - ・平成28年度 緑土会総会・懇親会開催のご案内（速報）（5月31日掲載）
 - ・平成28年度 緑土会総会・講演会・懇親会開催のご案内（第二報）（7月7日掲載）
- (6) 「第13回プロジェクトマネジメントセミナー（緑土会セミナー）」
 - ・緑土会主催「緑土会セミナー」開催のご報告（7月4日掲載）

3、校友会活動フォローについて

(1) 平成 28 年度 開催行事

- ・平成 28 年 4 月 23 日（土）東京都市大学世田谷キャンパス 幹事会・懇親会出席
- ・平成 28 年 6 月 18 日（土）東京都市大学世田谷キャンパス 総会・懇親会出席

(2) 緑土会選出校友会幹事の活動のフォロー

- ・校友会幹事会への参加の促し他
校友会関連のお知らせ（緑土会幹事会議事録と共に）を校友会欠席者（谷口幹事）に 3 月 18 日
付けでメールにて送付（他の幹事・会員は出席）
- ・谷口幹事より 4 月 23 日幹事会出席意向のメール受領⇒ 幹事会・総会出席（会員全員出席）

4、緑土会活動拡大について

(1) 部会活動に参加して貰うように卒業生へのアピール活動 ⇒ 活動継続中

- ・戸田建設・JR東日本の会社卒業生への運動（船越同部会顧問による情報）
- ・会報HP編集部会の横田氏（ライト工業）の東北支店転勤に伴う補助として同社の池田氏 1995
年卒（関東支社所属）推薦あり ⇒ 役員会・部会承認後、参加要請を行う予定
- ・戸田建設 小泉氏（首都圏土木支店在籍） 30名ほどの同窓会組織あり
⇒ 役員会・部会承認後、参加要請を行う予定 ⇒ 活動継続中 小林 小泉氏趣旨説明
- ・JR東日本 関田氏 平成12年卒（東京支社所属）に対しても同様の活動をしたい
- ・目黒教授（東京大学生産技術研究所）6月18日依頼 鹿児島出張につき総会欠席
- ・横浜市副市長 今後アプローチ予定 ⇒ 同期生 大田副部長へ依頼

(2) 校友会校友会各支部や集まりに出席しアピール活動

1、茨城支部総会出席（船越顧問）

2月6日（土曜日）～7日（日曜日） 小池精三支部長（緑土会 54年卒業）

2、福島支部総会出席（船越顧問）

6月4日（土曜日）～5日（日曜日） 佐藤安宏支部長（緑土会 37年卒業）

3、東京大学生産技術研究所 目黒教授を囲む会（船越顧問・小林部会長）

6月17日（金曜日） 東京大学生産技術研究所 目黒公朗教授（緑土会 61年卒業）

4、東京都市大学校友会総会出席（船越顧問・小林部会長・校友会幹事）

6月18日（土曜日） 校友会総会

栃木支部 関口行雄支部長（緑土会 44年卒業）

茨城支部 須藤賢一関東支部会会長（緑土会 49年卒業）

長野支部 上条貢前支部長（緑土会 40年卒業）

福島支部 佐藤安宏支部長（緑土会 37年卒業）

埼玉支部 岩間義人前支部長（緑土会 40年卒業）

千葉支部 宮寄義昭前支部長（緑土会 40年卒業）

5、千葉支部総会出席（船越顧問）

7月2日（土曜日） 海保芳久支部長（緑土会 49年卒業）

組織管理部会活動報告

* 平成28年3月1日 組織管理部会開催（於：世紀東急工業）
前回報告済み

* 学生支援会（インターンシップ）へ向けての、学生支援・セミナー部会との打合せ

5月10日 丸山研究室にて最終打合せ。丸山先生、小林副会長、高橋部会長、萩原副部
議事進行→段取り、役割分担
参加企業26社、学生50～60人参加予定

* 平成28年5月14日学生支援会開催（インターンシップの進め）
会場設営、受付、各企業からの資料配布等を実施

* 平成28年6月22日 総務会会議出席
総会に向けて→講演依頼（川井しげお先生）
役割分担は丸山先生と組織部会とで
幹事会に向けて→幹事アンケートを一旦纏めてみる 叩き台（交代案）を作成し、
幹事会で議論
学生支援セミナー→今後どうあるべきか？

* 平成28年6月30日組織管理部会開催（於：世紀東急工業）
東急建設：洪沢氏、服部氏 五洋建設：松尾氏、山本氏 世東工：平本、萩原

内容：議事録参照（別紙）

緑土会代表幹事 組織管理部会議事録

- I. 参加者
- | | | | |
|--------|----|------|-----|
| 平本公男 | 部長 | 萩原秀司 | |
| 世紀東急工業 | | 服部尚道 | |
| 東急建設 | | 松尾史朗 | 山本純 |
| 五洋建設 | | | |

II. 打合せ内容

- ① 組織管理部会の役割についての再確認
- ② 名簿の更新活動、メーリングリスト等を活用してメンバーを増やし経費の削減を図る
皆川教授、丸山教授と連携を図り引き続き活動を行う。(担当：萩原・松本)
フォーマットを作成し、会社毎へ案内を出すことも検討する。
- ③ 緑土会の活性化に向けて組織活動を行う
研究室OB会、各年代の同窓会と緑土会との関係を今後すり合わせを行う。
- ④ ホームページへの総会開催のアピール等広報活動（ホームページ部会への資料提供）
企業毎に割り振りを行い、ネタを提供して頂く。
- ⑤ 総会・幹事会（年2回以上）の開催主体・参加要請・資料作成等

7月12日	幹事会	資料作成・議事録作成	東急建設
10月28日	幹事会	資料作成・議事録作成	五洋建設
11月12日	総会	全員で行う（今後役割分担を打合せ）	

案内状作成

資料：参加者名簿、議事次第、年度経過報告、会計報告など

来賓挨拶、講演会

当日：受付、会計、司会、会場設営

⑥ その他

草柳会長の土木学科表彰について

4、5月13日開催の緑土会学生支援会の報告

- ・開催報告について、反省事項、来年度に向けての課題

4-1、最終打ち合わせ経過について

- ・5月10日 丸山研究室にて 15時～
- ・丸山総務会長、小林副会長（16時過ぎより）
- ・高橋学生支援・セミナー部会長、萩原組織管理部会副部会長
- ・議事の進め方について最終結論
 - ⇒ ・段取、役割分担について最終案をもとに打ち合わせ（別紙資料参照）
 - ・会社参加数26社、学生50～55人予定
 - ・緑土会ホームページへの「会報 りよくど NO2」に学生支援会開催の報告を掲載予定（原稿は学生支援・セミナー部会、掲載は会報・ホームページ部会担当）
 - ・発表予定会社4社も含めて緑土会ホームページに参加会社の資料を掲載 IC データの提出依頼（萩原組織管理部会副部会長担当）
 - ・ホームページ掲載用に写真記録を会報・ホームページ部会担当（黒沼部会長確認済み）

4-2、第1部「インターンシップの勧め」

- ・インターンシップ制度概要説明および事例紹介
（先生からの制度概要説明に続き、受入れ事例の発表を予定） 質疑応答
- ・議事の進め方については、学生支援・セミナー部会へ一任 ⇒ 別紙資料参照

4-3、第2部「意見交換・懇親会」（1号館4F ラウンジ「オーク」）

- ・在校生と社会人OBとの意見交換・懇親
- ・開会の辞 皆川副会長、丸山総務会長の教授陣へ依頼したい
 - ⇒ 学生諸君に会の趣旨などを教師の立場で趣旨を説明すべく皆川副会長で決定
- ・乾杯 緑土会会員全体での行事との意味から、前回から主導されている船越部会顧問、鈴木部会顧問に依頼したい ⇒ 船越部会顧問
 - ⇒ 参加者最長老で有志の会発起人でもある船越部会顧問に依頼決定（17時確認済み）
- ・閉会の辞 高橋学生支援・セミナー部会長 部会メンバーにて依頼したい
 - ⇒ 谷田副部会長（学生支援会担当）

4-4、開催報告書について

- ・緑土会ホームページ用報告書 作成済みで掲載済み
- ・幹事会報告用資料作成 ⇒ 学生支援部会担当にて依頼
- ・アルバム、企業関係資料など纏め

4-5、来年度に向けての反省会と課題について

- ・緑土会学生支援会であったが「緑土会」が薄まっていると感じたので、今後はリクルターだけではなく緑土会一般OBの参加を促したい、参加出来る雰囲気づくりをしたい
- ・必要であれば「関東緑土会」を正式に立ち上げることも有志の中で検討していきたい

4-6、学生支援会（緑土会主催）開催報告および次年度に向けての課題

2016.07.12 学生支援・セミナー部会（学生支援・セミナー部会資料）

開催日時：平成28年5月13日（金）17:00～19:30

開催場所：東京都市大学世田谷キャンパス

第1部「インターンシップ制度の勧め」 会場：1号館3F 13J教室

16:40 受付開始

参加者：学生47名（M1 7名、3年40名）、先生・卒業生43名、【計90名】

17:00 インターンシップ制度および事例紹介（進行：高橋学生支援部会長）

制度概要説明 栗原教授

事例紹介1 青木あすなろ建設（株）鈴木氏（1988卒）

事例紹介2 世紀東急工業（株）萩原氏（1983卒）

事例紹介3 （株）長大 成澤氏（2013卒）

事例紹介4 東京都 杉山氏（1990卒）

質疑応答

教室後方に各社資料（A4版1枚）を並べ、参加者が退出時に収集

第2部「意見交換・懇親会」 会場：1号館4F ラウンジ「オーク」立食スタイル

17:50 受付開始（参加会費：先生・卒業生5,000円/人、学生500円/人）

参加者：学生41名（M1 7名、3年34名）、先生・卒業生47名、【計88名】

18:00 開会挨拶 皆川緑土会副会長

乾杯 船越広報・校友会顧問

— 意見交換・懇親 — （立食テーブルごと）

— Q&Aタイム — （全体）

閉会の挨拶 谷田学生支援部会副部会長

19:30 解散

参加卒業生所属企業・団体名（五十音順）27団体

青木あすなろ建設、アジア共同設計コンサルタンツ、大林組、大林道路、鹿島建設、川田工業、ケミカルグラウト、交通建設、五洋建設、佐藤工業、サンユウシビルエンジニアリング、JR総研エンジニアリング、世紀東急工業、西武建設、成和リニューアルワークス、大成エンジニアリング、大成建設、長大、テクノス、東急建設、東京都、トーチコンサルタンツ、トップライズ、奈良建設、フジタ、みらい建設工業、ライト工業

意見交換・懇親会収支

収入：¥262,230 前年度繰越（6,730）、参加会費（47@5,000+41@500）

支出：¥202,887 グリーンハウス（197,000）、スリーエフ（5,887）

繰越：¥59,343

今年度改善事項および次年度への課題

- 第1部：・発表時間が短く忙しい ⇒ 開始時刻を早め90分程度へ拡張。（今年度50分）
・参加各社の資料を後方にランダムに並べるのではなく「官公庁、設計、施工、民間事業者etc.」に大別し、さらに各分野における特徴説明を実施。
- 第2部：・参加卒業生からの持込飲料の増加を図り、参加会費を低減。
・Q&Aで何を聞いていいかわからない学生も多く、経験したM1生からのインタビュー等にてイメージを引き出すことや、企業側にてある程度質疑の想定を行いクイズ形式にて誘導することを検討。
・マイク、スピーカー、お立ち台等の基本的な小道具の準備。
・懇親会場にて各企業・団体の資料をパネル化等見やすく掲示し紹介。（個別質疑他）
- 全体：・参加者数の増加。（卒業生および学生）

以上

平成28年5月25日

学生支援会（緑土会主催）開催のご報告

緑土会会員の皆様には、日頃より緑土会のためご尽力いただき、ありがとうございます。

緑土会ホームページや幹事会等で予めよりご案内しておりました、平成28年度の最初の行事であります「**学生支援会**」を**緑土会主催で5月13日に開催いたしました。**

昨年の「仮称：関東緑土会」は有志にて音頭をとり開催いたしましたが、今回は正式に緑土会主催として初めて開催いたしました。

（昨年の「仮称：関東緑土会」の報告は校友会・緑土会ホームページ「関東緑土会開催報告」に掲載しておりますのでご覧いただければと思います）

今年は、学生が初めて実務を経験出来る機会である『**インターンシップ制度**』をテーマに、事例紹介や意見交換を通じて、より積極的に当制度を活用いただき、学業と実社会との連携を図っていただける様に企画し開催いたしました。

当日は、まず**第1部**として「**インターンシップの勧め**」をテーマに1号館3階13J教室にて開かれました。（先生・学生47名、卒業生41名の参加者）

緑土会 高橋部会長（学生支援・セミナー部会）の司会の元、最初は、栗原准教授によるインターンシップの説明、近年の傾向（参加者人数の推移等）、応募方法・手続き手順・提出書類、期間（日数）・取得単位等の説明があり、その後卒業生OB（4社）による事例発表として「当社のインターンシップについて」をプロジェクターや資料にて概要説明が行われ、その後質疑応答を行い閉会となりました。事例発表された4社以外の資料についても、1部終了後参加学生の皆さんへ配布されました。

第2部は、1号館4階ラウンジ「オーク」にて懇親会を開催いたしました。

開催の挨拶を皆川緑土会副会長、乾杯を参加者の最長老で昨年の有志の会でも音頭を取って頂いた船越さん（広報・校友会部会顧問）（昭和41年卒業）にお願いし、懇親会を始めました。

途中、高橋部会長の質問コーナーがあり、また学生の皆さんと卒業生との活発な意見交換などが会場全体で見受けられ、懇親会が短く感じられる雰囲気、実社会にて活躍中の卒業生の皆さんに、より多くの学生に触れ合ってもらったと感じております。

緑土会では、来年も同様の企画を計画しておりますので、社会人をご卒業された会員の皆様にも是非若い学生諸君との交流を持って頂き貴重な経験をご教授頂けたら幸いです。

今年は卒業生OBの参加が学生諸君に比べて少なかったと感じられました。学生の皆さんに圧倒されたと感じたからかもしれません。

11月の緑土会総会・懇親会の「中間の会」としての位置付けでもあります。来年も同じ時期に開催予定ですので、卒業生OBの皆さん同士の懇親の意味でも、さらなる参加を心待ちにしております。

よろしく申し上げます。

緑土会会長 草柳俊二

（代筆 緑土会副会長 小林哲男）

以上

5、6月29日開催の緑土会セミナー開催の報告

第13回 プロジェクトマネジメントセミナー 内容紹介と写真 (東京都市大学 緑土会・工学部都市工学科 主催)

土木学会認定 CPD 講座 東京都市大学 緑土会・工学部都市工学科 主催
第13回 プロジェクトマネジメントセミナー
—海外における建設事業の最先端—



本セミナーでは、土木技術者が真の意味で社会に貢献するために必須のプロジェクトマネジメント、社会基盤マネジメントに関わるテーマを設定し、少人数対話型のセミナーとして4年目を迎えています。今年度は、以下のテーマと日程で、現在最も注目を集めているテーマについて、開催する予定としています。多数のご来場をお待ち申し上げます。

第13回 6月29日 海外建設事業
第14回 8月31日 PPP/PFI
第15回 10月19日 BIM/CIM

講師

(株)日本開発政策研究所主席コンサルタント 勝俣 陸
男氏 (S55 土木工学科卒業)

「ASEAN 共同体発足と現状」

日本工営(株)技術監査室技師長 畑尾 成道氏

「ODA による海外建設事業、開発コンサルタントの役割、海外事業の課題」

日時：2016年6月29日(水) 14:00-17:00

場所：東京都市大学 渋谷サテライトクラス

東京都渋谷区道玄坂1-10-7 五島育英会ビル B1 階

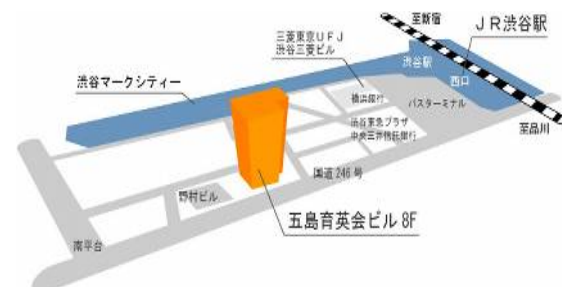
参加費：3,000円を当日徴収いたします。なお、学生は無料とします。

意見交換会：セミナー終了後、意見交換会を行います。意見交換会の会費は無料としています。(17:30-20:00)

申込：メールまたはFAXにて、セミナー・意見交換会の参加が分かるようご連絡ください。

ご連絡先：東京都市大学工学部都市工学科教授・皆川勝
メール minamasa@tcu.ac.jp

CPD：本セミナーは土木学会の継続教育(CPD)プログラム認定として認定されています。(各回4単位、JCE16-0508)



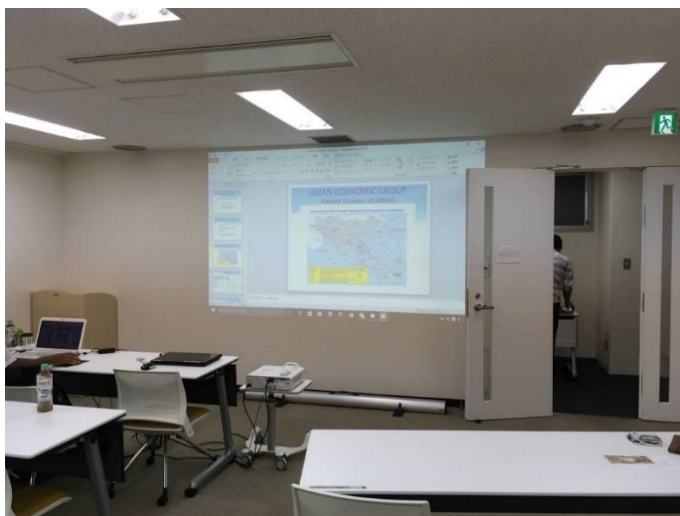
【第1部】講演会 平成28年6月29日(水)14:00~

土木学会認定 CPD 講座 —海外における建設事業の最先端—



写真① 東京都市大学
渋谷サテライトクラス

東京都渋谷区道玄坂 1-10-7 五島育英会ビル B1 階



写真② 講師の方はパワーポイントなどで
講義

写真③ 講座受付状況
学生と共同で受付



【第1部の前半】講演会

講師

㈱日本開発政策研究所主席コンサルタント 勝俣 陸男氏 (S55 土木工学科卒業)
「ASEAN 共同体発足と現状」

勝俣陸男氏の略歴



Introduce Myself

勝俣 陸男(かつまた りくお)
PhD (米国コーネル大学)、APECエンジニア、
IPEA国際エンジニア、技術士(建設部門)、
JSCE特別上級技術者(都市及び流域)

略歴

- 1980年 前田建設工業(株) 入社
国内大型ライフライン建設工事に参加
- 1990年 前田建設工業米国現地法人MKKテクノロジーズに出向
一時米州大学と共同研究(PhD取得)
- 2002年 都市基盤整備公団(現都市再生機構)に専門官として出向
- 2006年 (株)日本開発政策研究所(カンボジア国プノンベン経済特別区
にチーフエンジニアとして参加。計画・設計・施工・運営維持管理、
危機管理を担当。)
- 2012年 JICA経済特別区エキスパート(カンボジア国特区)
- 2013年 世界銀行経済特別区マスタープランエキスパートとしてバングラ
デシュ経済特別区の計画に従事(計画3、実施2)
- 2015年 カンボジア、バングラデシュ等、アジアの経済特区(約10特区)
プロジェクトを推進

論文発表

アジア土木技術会議(CECAR)
2007年 台湾、2010年 オーストラリア、2013年 インドネシア、
2016年 米国 (実際に担当したプロジェクトを理論整理し発表)

日本技術士会

2011年 日本技術士会創立60周年記念大会口頭論文プロジェクトに採
択。皇室列席のもと口頭発表

受賞歴

- 2004年 都市基盤整備公団総裁褒状
- 2011年 カンボジア国ファンセン首相よりタバダン賞

勝俣 陸男氏の講義状況



前列左側が、講師の勝俣陸男氏

【第1部の後半】講演会

日本工営(株)技術監査室技師長

畑尾 成道氏

「ODAによる海外建設事業, 開発コンサルタントの役割, 海外事業の課題」

講師 畑尾 成道氏



畑尾成道氏の講義状況



【第1部の聴講風景と質疑コーナー】

司会をされる皆川副会長



活発なる意見交換



聴講風景

【第2部】意見交換会 平成28年6月29日(水)17:30～

懇親会は皆川副会長の開会の辞と乾杯の音頭で開始された。

意見交換会には、講演会より2名の欠席の22名が参加して頂きました。セミナー講師2名をはじめ一般聴講生、大学OBと学生。

意見交換会は一時間と短かったのですが、先生方、学生、OBともに打解けて、活発な会話が各グループでされておりました。

意見交換会の締めとしてOB最長老の山田氏に一本でお願いして次回の緑土会セミナーでの再会をお願いして会を締めさせていただきました。

セミナー講師・一般聴講生・学生・教授・同窓会OB一体で意見交換会



サテライトクラスから場所を変えての懇親会全景

6、幹事の見直し等についての方向性について

- ・ 学年幹事のアンケート実施中間結果
- ・ 今後の方向付けについて
- ・ 学年幹事の皆さんの意見をお聞きしました

6-1、幹事の見直し等についての意見集約（（平成27年度）第2回緑土会 幹事会）

- ・ 幹事会の活性化に向けての学年幹事の見直しの提案をしました
- ・ 新年度に向けて幹事会・総会への出欠席連絡・委任状況などの返事が来ない学年幹事が多く見受けられる状況ではありますが、今回の幹事会への連絡とここ4～5年の連絡状況を考えて秋の幹事会・総会に向けて見直しを具体的に進める提案です
- ・ 幹事会での意見として、今回再度学年幹事に各学年で学年幹事の見直し（継続か新たな選任）をお願いすることといたしました
- ・ この結果は、次回の2016.7.12の緑土会幹事会・部会メンバー会で中間報告することになります
- ・ 「上記結果を受けて、7月12日の緑土会幹事会の開催案内時に「学年幹事に各学年で学年幹事の見直し（継続か新たな選任）」についてアンケートもしくは学年幹事交代案を提案することとしました。案内はがきが学年幹事の皆様へ届いた際にははがきの内容により希望について記載して頂ければ幸いです」

6-2、お知らせの発送について（上記1-1を受けて）

- ・ 学年幹事へのアンケートや学年幹事の自主的交代の申し出を受けるためにある程度の期間が必要（1～2ヶ月）となると5月連休明けにも葉書によるお知らせの発送
- ・ アンケートについて13日までに組織管理部にて作成し、13日に確認を行った
- ・ 学年幹事の全員の皆さんに今回はメールではなく往復ハガキにて「幹事会の参加の有無」「学年幹事に関する考え」についてアンケートを行う
- ・ 5月下旬までに学年幹事へ届くように発送する
- ・ 学年幹事の変更は11月とするので学年幹事の変更か留任かの選出案についてのアンケートとする

6-3、具体的な学年幹事の入替は、11月の総会での議決とする

- ・ 次回の幹事会では、欠席学年の幹事についての意見を要具申 ⇒ 結果について記入予定昨日までのアンケート結果については別紙の通り（別紙添付）
- ・ アンケート結果をもとに総務会・組織管理部会を主体に、学年幹事の変更の具体的な方法について検討し、7月の幹事会に具申することとする
- ・ アンケート結果を基に幹事会への中間報告を纏める（組織管理部会にて担当）

その他幹事会関係

6-4、緑土会幹事会開催時に懇親会を開催してほしい旨要望あり

- ・ 総務会で語り、幹事会の意見を受け決定することとするが、今回の7月12日の幹事会は終了後有志にて懇親会を予定するように冒頭にて呼びかけを

6-5、定例幹事会について

- ・ 3月、7月、11月開催の幹事会を定例幹事会と称す

緑士会 役員・幹事 アンケート集計状況

															2016.7.9 現在
番号	08会役職名	氏名	幹事会出欠	年度幹事 (継続/交代)	交代希望者の意見	08会役職名	氏名	幹事会出欠	年度幹事 (継続/交代)	交代希望者の意見	08会役職名	氏名	幹事会出欠	年度幹事 (継続/交代)	交代希望者の意見
1	学幹事 (S18)	西野 正				学幹事 (S51)	松浦 弦三郎	委任	継続		学幹事 (010)	保井 涼子			
2	学幹事 (S19)	小川 清				学幹事 (S52)	岡村 和之	委任	継続		学幹事 (011)	中村 聡			
3	学幹事 (S20)	坂倉 正二	委任	未回答		学幹事 (S52)	谷田 孝二	委任	継続		学幹事 (011)	藤谷 健	委任	未回答	
4	学幹事 (S23)	保坂 誠治	委任	交代	役員会に一任	学幹事 (S53)	浅井 敏行	委任	交代	未回答	学幹事 (011)	山本 成規	委任	未回答	
5	学幹事 (S25)	鎌田 省一				学幹事 (S53)	小次 敏行	委任	交代	役員会に一任	学幹事 (012)	久保田 謙			
6	学幹事 (S27)	高橋 壯	委任	継続		学幹事 (S54)	澤田 晃	委任	未回答		学幹事 (012)	渡辺 修吾			
7	学幹事 (S32)	八木 利夫	委任	交代	役員会に一任	学幹事 (S54)	林 丸彦	出願	継続		学幹事 (013)	大井 幸太			
8	学幹事 (S33)	田寺 清治	委任	交代	役員会に一任	学幹事 (S55)	今井 新一郎	委任	交代	役員会に一任	学幹事 (013)	上井 藤可	委任	交代	役員会に一任
9	学幹事 (S33)	藤本 勇作	逝去			学幹事 (S55)	池藤 敏剛	出願	未回答		学幹事 (014)	伊藤 夏子			
10	学幹事 (S34)	石田 真男	委任	交代	役員会に一任	学幹事 (S55)	渡部 秀樹	委任	継続		学幹事 (014)	五明 賢	交代		役員会に一任
11	学幹事 (S34)	谷川 一博	出願	継続		学幹事 (S56)	石川 隆信	出願	未回答		学幹事 (015)	中島 健蔵			
12	学幹事 (S35)	和泉 四郎				学幹事 (S56)	太田 一三	出願	未回答		学幹事 (015)	松村 崇			
13	学幹事 (S35)	土堀 徳忠明	委任	交代	役員会に一任	学幹事 (S57)	安藤 慎一郎	出願	未回答		学幹事 (016)	新井 健司	委任	交代	役員会に一任
14	学幹事 (S35)	山田 秋夫	出願	継続		学幹事 (S57)	高橋 順夫	出願	継続		学幹事 (016)	鈴木 浩幸	委任	交代	
15	学幹事 (S36)	府川 利夫				学幹事 (S58)	松沢 重彦	委任	継続		学幹事 (017)	伊藤 聖			
16	学幹事 (S36)	横田 武之	出願	未回答		学幹事 (S58)	萩原 秀司	委任	継続		学幹事 (017)	丸山 健司	出願	継続	
17	学幹事 (S37)	有馬 規男	委任	継続		学幹事 (S59)	湯田 博敏				学幹事 (018)	福山 康子			
18	学幹事 (S37)	長島 健	委任	未回答		学幹事 (S59)	佐久間 健夫				学幹事 (018)	坂倉 真里佳			
19	学幹事 (S38)	築 良雄	出願		その他 (通官参加)	学幹事 (S60)	佐藤 貢一	委任	継続		学幹事 (019)	佐藤 福平	委任	交代	役員会に一任
20	学幹事 (S38)	新垣 辰夫	委任	交代	役員会に一任	学幹事 (S60)	樋口 達也	委任	交代	役員会に一任	学幹事 (019)	菅原 光			
21	学幹事 (S39)	今井 治	委任	交代	その他 (交代者がいない)	学幹事 (S61)	高橋 利明				学幹事 (020)	栗田 悠史	委任	交代	役員会に一任
22	学幹事 (S39)	高橋 信夫	委任	交代	役員会に一任	学幹事 (S61)	長谷川 雅也	委任	交代	役員会に一任	学幹事 (020)	黒田 和弘			
23	学幹事 (S40)	羽山 憲男	出願	継続		学幹事 (S61)	日黒 公昭	出願	未回答		学幹事 (020)	長谷川 茂士	委任	交代	役員会に一任
24	学幹事 (S40)	田中 昭男	出願	継続		学幹事 (S62)	土橋 功				学幹事 (021)	宇高 雄大			
25	学幹事 (S41)	五観 章	出願	継続		学幹事 (S62)	松本 辰男	委任	継続		学幹事 (021)	中沢 雄太	住所不明		
26	学幹事 (S41)	船越 清彦	出願	継続		学幹事 (S63)	穴沢 康之	委任	継続		学幹事 (021)	渡邊 寛隆			
27	学幹事 (S42)	川口 勝弘	委任	交代	役員会に一任	学幹事 (S63)	谷口 敬	出願	継続		学幹事 (022)	近野 正彦			
28	学幹事 (S43)	小林 康弘				学幹事 (010)	小林 正裕				学幹事 (022)	松井 厚一郎	委任	交代	役員会に一任
29	学幹事 (S43)	山角 正	委任	交代	役員会に一任	学幹事 (011)	平井 章	委任	未回答		学幹事 (022)	山崎 政行			
30	学幹事 (S44)	青木 良輝	出願	継続		学幹事 (012)	江夏 輝行				学幹事 (023)	梅田 悠輔			
31	学幹事 (S44)	中楚 豊	出願	継続		学幹事 (012)	榎 雅俊				学幹事 (023)	小川 達也			
32	学幹事 (S44)	島山 義昭				学幹事 (012)	吉川 直志	委任	未回答		学幹事 (023)	原野 満	委任	継続	
33	学幹事 (S45)	尾谷 和男	委任	交代	石井正明氏にお譲済み	学幹事 (013)	小林 正弘				学幹事 (024)	青木 大夢	委任	未回答	
34	学幹事 (S45)	小林 幹雄	委任	未回答		学幹事 (013)	渡邊 康之	出願	未回答		学幹事 (024)	小松 隆	委任	継続	
35	学幹事 (S45)	鈴木 利明				学幹事 (014)	水尾 浩一	委任	交代	役員会に一任	学幹事 (024)	渡本 優介			
36	学幹事 (S46)	豊田 哲也				学幹事 (014)	服部 尚道	出願	継続		学幹事 (025)	木村 健太郎	委任	継続	
37	学幹事 (S46)	野田 孝男	出願	継続		学幹事 (015)	野田 克司	委任	交代	役員会に一任	学幹事 (025)	吉野 広汰	委任	交代	役員会に一任
38	学幹事 (S47)	大野 雄	委任		その他 (小林剛吉氏に一任)	学幹事 (015)	高橋 実	委任	交代	役員会に一任	学幹事 (025)	高橋 慶輔	委任	継続	
39	学幹事 (S47)	小林 哲男	出願	継続		学幹事 (016)	加藤 靖子				学幹事 (026)	上村 健太郎	委任	継続	
40	学幹事 (S48)	石井 清				学幹事 (016)	梅鉢 大裕				学幹事 (026)	新倉 大輔			
41	学幹事 (S48)	新矢 邦彰	委任	交代	丸山信雄に交代	学幹事 (017)	有馬 敬幸	委任	交代	役員会に一任	学幹事 (026)	西井 敬治	住所不明		
42	学幹事 (S49)	伊田 啓吾三郎	委任	交代	わからない	学幹事 (017)	茅野 秀徳	出願	継続		学幹事 (027)	鈴木 直人			
43	学幹事 (S49)	木村 克男	委任	交代	これから同窓生で決める	学幹事 (018)	武田 大輔	出願	未回答		学幹事 (027)	渡邊 和貴			
44	学幹事 (S50)	神田 彰久	出願	継続		学幹事 (018)	上谷 文和				学幹事 (027)	池田 香澄			
45	学幹事 (S50)	込口 正廣	委任	交代	役員会に一任	学幹事 (019)	安達 好彦	委任	継続						
46	学幹事 (S50)	由井 淳三	委任	継続		学幹事 (019)	金田 尚志								
47	学幹事 (S51)	鈴木 良幸				学幹事 (010)	五観 裕志	委任	交代	役員会に一任					

継続	14
交代	15
未回答	4
なし	14
確認	47

継続	15
交代	10
未回答	10
なし	12
確認	47

継続	6
交代	9
未回答	3
なし	26
確認	44

アンケート集計結果

継続	35
交代	34
未回答	17
なし	52
確認1	138
確認2	138

継続	はがきに「継続」と意思表示
交代	はがきに「交代」と意思表示
未回答	はがきに「出席・委任」と回答するも意思表示なし
なし	はがきの返事なし

7、緑土会の財政問題とその解決の方向性について

- ・校友会からの学科同窓会支援費の取り扱いについて ⇒ 今後支援金の増額を狙う
- ・校友会総務委員会・事務局への確認結果
- ・各企業・団体からの募金の取り扱いについて ⇒ 今後寄付を受けられるような体制へ
- ・予算決算方式への検討

7-1、緑土会活動経費の今後について

- ・前回の役員会・代表幹事会にて議論を行っているが、校友会幹事会にて小林より学科同窓会支援費の取り扱いについての質問を行った（昨日校友会への報告についても確認）
⇒ 校友会にて支援費のルール作成を行っている（丸山総務会長）
⇒ 6月17日時点では作成していないことを校友会事務局問い合わせで確認（小林）
- ・緑土会にも「学科同窓会支援費についての取り扱い」について意見の集約が出来ていないので皆川財務部会長より緑土会幹事会までに報告書を纏めることとなった（4月23日校友会幹事会終了後確認）
「7-9、平成27年度 学科同窓会支援について」参照

★ 緑土会活動の活性化により校友会からの支援金の増額が得られる環境となってきたり、また活性化を求めることは当然のことながら一部役員・部員などの負担が大きくなってきている事に繋がっている ⇒ 学年幹事の緑土会活動への積極的かつ実質的な参加が必要であり、かつ交通費など問題のない範囲での支給も検討する必要がある

7-2、前年度緑土会活動経費について

- ・使用されていない（丸山総務会長）
- ・執行時期の問題があるが「学生支援会」「会議場所経費」などで今後活用予定
- ・校友会への報告が必要（総務会・財務部会にて作成必要）
⇒ 校友会にて支援費の取り扱いルールを作成しているが、今回（12日開催）の緑会学生支援会活動にも使えるように働きを行う予定 ⇒ 多分決まりはなしで使える

7-3、今後について

- ・他大学における会費徴収の例（前回役員会・代表幹事会議事録掲載）
- ・今後財務部会で検討（前回役員会・代表幹事会議事録掲載）
- ・総務会・財務部会において遅滞なく検討する方向で！

7-4、皆川財務部会長 資料 5月13日付（7-8、参照）

- ・1、経常費の収支状況履歴、2、総会収支状況履歴、3、繰越金の履歴
- ・今後、緑土会活動について「収入と収支」の面で、総務会・財務部会にて検討を行う
- ・中間報告を財務部会より

7-5、新規検討課題 会議費・旅費について（次ページ資料）

- ・武蔵工業会、東京都市大学校友会での「会議費・旅費」の取り扱いを調査
- ・今後の検討課題
⇒ 部会の活性化に伴い交通費の負担が部会員に掛ってきているので「会議交通費」について支給が可能かどうか検討していきたい
例えば校友会「一律1000円」であるが「一律500円」

・試算

部会費用	5部会 * 6人 * 500円 * 6回（年）	90000円
役員会費用	2（役員会・総務会） * 10人 * 500 * 12回（年）	120000円
幹事会	1 * 50人 * 500 * （3+1）回	100000円
計	310000円	⇒ 学科同窓会支援費 30万円
	校友会と同じ「一律 1000円」でも60万円～70万円	

7-6、検討課題 会議費・旅費について

(1) 校友会の旅費等申し合わせについて調査

① 2016年5月20日回答分

緑土会副会長 小林様

校友会事務室の渡辺です。お世話になっております。お問い合わせのありました交通費・会議費などの支給条件が書いてあります

「旅費等申し合わせ」を添付にてお送りいたします。よろしくお願いたします。

支部関係経費 旅費等支給申し合わせ

東京都市大学 校友会

種別	対象	支給額	備考
旅費等	支部総会懇親会 ・地区代表者 ・本部役員出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・特急、急行料金の支給は、100Km以上とする。 ・航空機代は1ヶ月前の割引料金での支給とする。但し、急遽決定・変更の場合は往復割引料金で支給する。 ・宿泊費 ￥10,000（自宅から3時間以上を要する場合、宿泊可とする。） ・日当 ￥2,000（宿泊対象者のみ） 	
	全国支部長会議 地区代表者会議 ・支部長	<ul style="list-style-type: none"> ・特急、急行料金の支給は、100Km以上とする。 ・航空機代は1ヶ月前の割引料金での支給とする。但し、急遽決定・変更の場合は往復割引料金で支給する。 ・宿泊費 ￥12,000（自宅から3時間以上を要する場合、宿泊可とする。） ・日当 ￥2,000（宿泊対象者のみ） 	
	地区支部長会議 ・地区支部長	<ul style="list-style-type: none"> ・特急、急行料金の支給は、100Km以上とする。 ・航空機代は1ヶ月前の割引料金での支給とする。但し、急遽決定・変更の場合は往復割引料金で支給する。 ・宿泊費 ￥10,000（自宅から3時間以上を要する場合、宿泊可とする。） ・日当 ￥2,000（宿泊対象者のみ） ・会議費は、実費とし上限を3万円とする。年度企画書にて申請 	
	総会表彰者	<ul style="list-style-type: none"> ・特急、急行料金の支給は、100Km以上とする。 ・航空機代は1ヶ月前の割引料金での支給とする。但し、急遽決定・変更の場合は往復割引料金で支給する。 ・宿泊費 ￥12,000（自宅から3時間以上を要する場合、宿泊可とする。） ・日当 ￥2,000（宿泊対象者のみ） 	
慶 祝	祝い金について	<ul style="list-style-type: none"> ・地方支部、国外支部 ￥30,000 ・職場支部、学科同窓会 ￥20,000 	

平成28年 4月 14日 常任幹事会 承認

平成28年 4月 1日から適用

② 2016年5月23日回答分

・小林より校友会事務局へ

お返事ありがとうございます。

幹事会や分科会で支給して頂いている交通費については別に規定があるのですか？

緑土会 小林哲男

・緑土会副会長 小林様

校友会事務室の渡辺です。お世話になっております。幹事会、委員会（部会を含む）の交通費ですが、規定は、ありません。（武蔵工業会の時も、ありません。）

但し、校友会常任幹事会議事録（平成 25 年度第 5 回 平成 25 年 11 月 16 日開催）によると、会議交通費について審議され、承認されたと書いてありました。

承認されました「会議交通費」資料を添付にてお送りいたします。よろしく願いいたします。

2013/11/16 平成 25 年度第 5 回常任幹事会にて承認

交通費について

1.会議交通費

現行(旧武蔵工業会)	新(校友会)
常務理事会・各委員会の出席者対し実費精算 (事前に交通費計算書提出) *総会・理事会・支部出張は除く	一律 1,000 円/1 回とする 但し、1,000 円以上の方に対しては、ボランティアとして 協力をお願いする。

7-7、平成27年度 学科同窓会支援について

平成27年11月26日

平成27年度 学科同窓会支援について

学科・支部支援費用検討委員会

《学科同窓会への支援配分基本方針》

- ①一律支援
 - ・卒業生の多い8学科同窓会(機親会、電友会、緑土会、如学会、通友会、経友会、楷の木会、新美砂会)……各15万円
 - ・新しい6学科同窓会(情智会、医工会、原子力友の会、さきがけ、源友会、等々力会)……総会の定期的開催に至っていない又は総会規模が小さいことから各10万円とする。
- ②大学の名を高める事業に対して支援する。
- ③就職支援事業に対して支援する。
- ④新しい学科同窓会に対して、総会の実施支援及び総会の立ち上げ準備支援(人的サポートを含める)を行う。
- ⑤新美砂会に特別支援する。

7-8、財

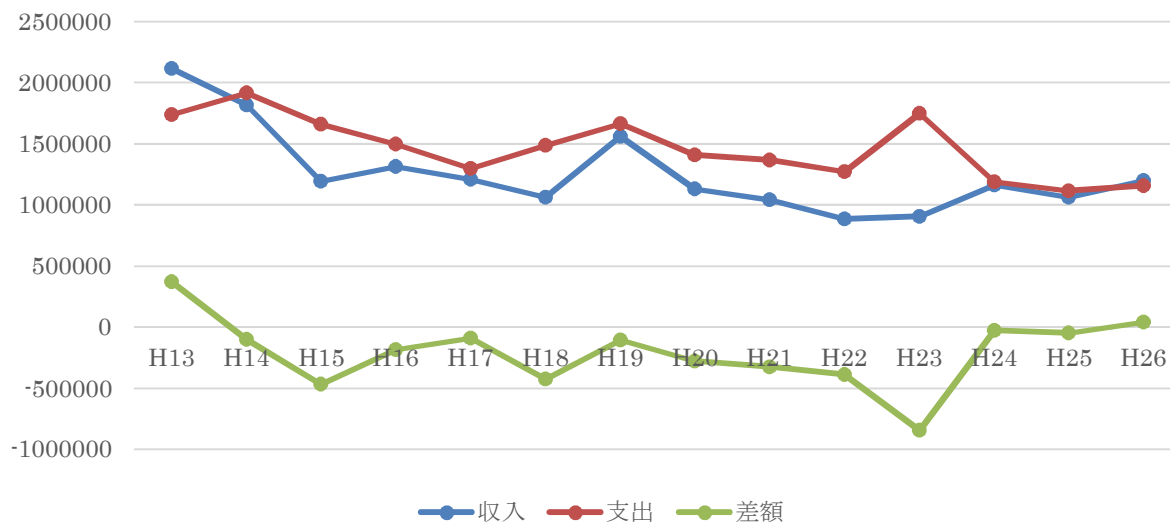
学科同窓会名	①一律支援	②大学の名を高める事業支援	③就職活動支援	④総会開催支援	⑤特別支援	計
機親会	150,000	ホンダ技研社長との座談会・懇親会(実施はH28年度、H27年度は準備支援) 75,000	機械システム学生と卒業生で企業研究・パネルディスカッション 75,000			300,000
電友会	150,000					150,000
緑土会	150,000		都市工学科と共催・建設プロジェクトに関する話題提供・討議、(年4回3時間実施) 320,000			470,000
如学会	150,000	○建築100人展(大学展、上野の森美術館展) 540,000 ○久之浜地区復興プロジェクト(いわき市) 150,000	進路支援プログラム/OB・OGによる就職進路ガイダンス 185,000			1,025,000
通友会	150,000					150,000
経友会	150,000		職業選択の支援 100,000			250,000
情智会	100,000					100,000
医工会	100,000			立ち上げ支援 50,000		150,000
原子力友の会	100,000					100,000
さきがけ	100,000			実施支援 25,000		125,000
源友会	100,000					100,000
楷の木会	150,000					150,000
等々力会	100,000			立ち上げ支援 50,000		150,000
新美砂会	150,000				300,000	450,000
計	1,800,000	765,000	680,000	125,000	300,000	3,670,000

緑土会役員会・総務会 財務部会報告

1. 経常費の収支状況履歴

	収入	支出	差額	参考
H13	2113096	1739443	373653	利息73万円
H14	1818634	1919152	-100518	利息35万円
H15	1193285	1658447	-465162	利息10万円
H16	1316705	1499223	-182518	利息6万円
H17	1210024	1300653	-90629	
H18	1065231	1488407	-423176	
H19	1560321	1666514	-106193	利息29案万円
H20	1131618	1406864	-275246	
H21	1041854	1367775	-325921	
H22	884151	1272843	-388692	
H23	905179	1747597	-842418	貸与60万円
H24	1161113	1187496	-26383	返還25万円
H25	1065257	1113173	-47916	返還15万円
H26	1197124	1155820	41304	返還10万円, 校友会支援15万円
			-2859815	校友会支援47万円
			-204273	
			平均	

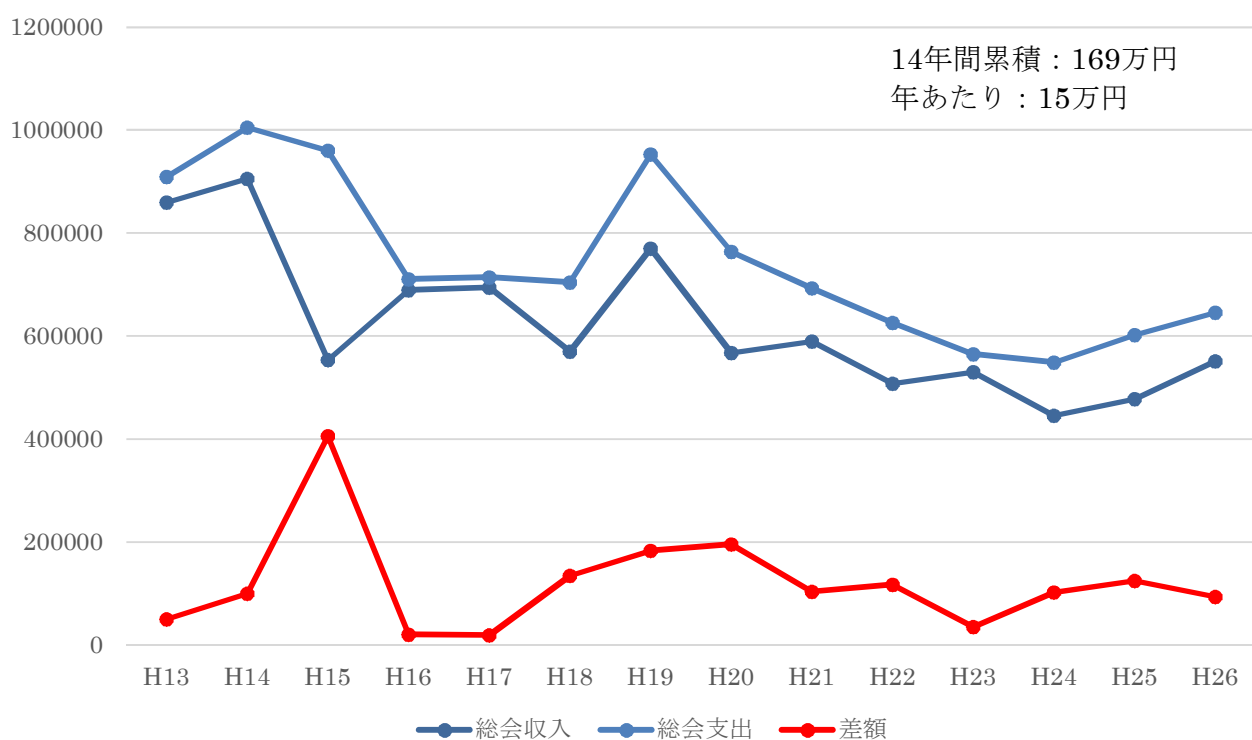
経常費収入・支出・差額



- ・ 経常費の赤字額は平均 20 万円／年
- ・ 近年は、定額預金利息がない
- ・ 校友会の一律補助（15 万円）でおおよそ赤字は解消される
- ・ 新しい施策には、新規の収入減を確保することが望ましい

2. 総会収支状況履歴

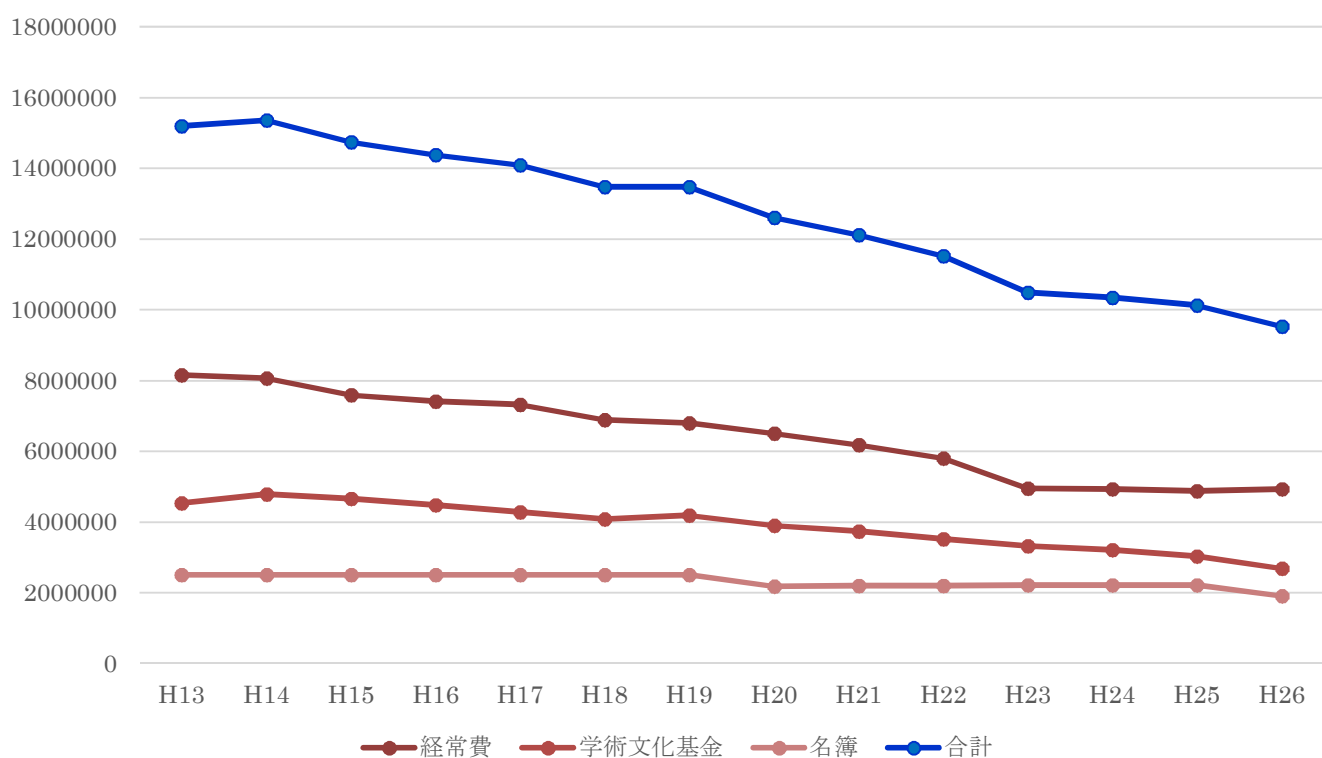
	総会収入	総会支出	差額
H13	860000	910,292	50,292
H14	906000	1,005,890	99,890
H15	554000	960,330	406,330
H16	690000	710,804	20,804
H17	695000	714,955	19,955
H18	570000	704,940	134,940
H19	770000	953,190	183,190
H20	568000	764,734	196,734
H21	590000	693,624	103,624
H22	508000	625,836	117,836
H23	530000	565,565	35,565
H24	446000	548,905	102,905
H25	478000	603,201	125,201
H26	552000	646,793	94,793
			1,692,059



- ・会場宴会費でみると、平均して15万円の赤字
- ・通信費が別途30万円から40万円かかっていたが、平成26年度より20万円に抑制
- ・会場を大学に変更することで改善される

3. 繰越金の履歴

	経常費	学術文化基金	名簿	合計
H13	8160351	4538844	2500863	15,200,058
H14	8059833	4794968	2500869	15,355,670
H15	7594671	4658338	2500874	14,753,883
H16	7412153	4480070	2500878	14,393,101
H17	7321524	4280118	2500880	14,102,522
H18	6898348	4079973	2501146	13,479,467
H19	6792155	4194344	2501416	13,487,915
H20	6516909	3906637	2181767	12,605,313
H21	6190988	3733041	2201833	12,125,862
H22	5802296	3522983	2201898	11,527,177
H23	4959878	3321463	2212612	10,493,953
H24	4933495	3211192	2212660	10,357,347
H25	4885579	3025134	2212708	10,123,421
H26	4926883	2696444	1912733	9,536,060



- ・ 経常経費は、平均すると年 20 万円程度減額となり、14 年間で (816 万円→493 万円)
- ・ 学術基金は、故中岡先生の退職記念事業からの先生への贈呈金全額のご寄付に始まり、OB 教員の退職時のご寄付や卒業生の寄付が財源、したがって増える見込みはなく、長期的に減少している (454 万円→270 万円)
- ・ 名簿作成は、今後は行わないのではないか、名簿会計をどうするか
- ・ 合計資産は、14 年間で 1520 万円→954 万円
- ・ 今後、仮に 15 万円程度の一律助成が校友会からなされるとすると、総会の開催方法変更とで、経常費の赤字は解消される
- ・ 問題は、学術文化基金が長期減少傾向に対して、どのような対策を考えるか

7-9、財務部会資料（7月2日）

件名: 予算決算方式に変更する件（皆川副会長・財務部会長）

菊地さま、高田さま、三浦さま、伊藤さま

c c : 小林副会長、丸山総務部長

小林副会長より、現在の会計方式を予算決算方式に変更する件について、平成27年度の決算（まだ監査は経ておりません）を作成し、それに基づいて平成28年度予算案を作成してみました

問題は以下の通りかと思います。

1. 校友会からの支援の方針が未定

昨年は、一律15万円+就職支援として緑土会セミナー経費32万円を支援されました

現在、校友会総務委員会で支援案を検討中ですが、いつ決まるかは不透明です

一応以下の皮算用をしました

活性化の活動を評価されると仮定し、経常費扱いで30万円

学術関係で緑土会セミナー、寄付講座、就職支援セミナーで49万円

2. 会合の交通費

部会活動等に交通費を支給するか否かについて、小林さんの意見は、その分が校友会から支援される場合には支給したい、ということでしたので、予算案に入れてみました、原則は1回の交通費は一人500円としてみました

3. 方式変更日程

現在の会則では、予算決算方式をとっていません

秋の総会で会則を変更し、平成29年度予算から予算決算方式とするということかと、今年度は参考までに試行してみるということでしょうか

予算案を添付します

経常費

列1	項目	小項目	決算	予算案	備考	チェック
収入	前年度繰越		4926883	5069155		
	総会会費		568000	400000	4000円×100名	
	総会祝い金		58000	50000		
	新入会員会費		525000	500000	5000円×100名	
	定額貯金満期利息		0	0		
	普通預金利息		112	200		
	校友会支援		150000	300000		
	計		6227995	6319355		
支出	設備備品費		0	0		OK
	消耗品費		4521	10000		OK
	人件費	会計監査手当	10000	10000		
		総会アルバイト	52000	60000		
		小計	62000	70000		OK
	通信費	幹事会	60518	60000	15000円×4回	
		総会	171221	170000		
		小計	231739	370000		OK
	会合費	幹事会	80706	160000	40000円×4回	
		部会	0	100000	5000円×20回	
		幹事会交通費	0	60000	500円×30人×4回	
		部会交通費	0	50000	500円×5名×20回	
		その他	16420	20000		
		小計	97126	390000		OK
	慶弔費		48772	50000		OK
	総会費		678514	300000	3000円×100名	OK
	その他	印刷代	28080	30000		
		輸送代	7764	10000		
		手数料	324	1000		
		小計	36168	41000		OK
	計		1158840	1231000		
次年度繰り越し			5069155	5088355		

学術文化基金

列1	項目	小項目	決算	予算案	備考	チェック
収入	前年度繰越		2696444	2754045		
	定額貯金満期利息		0	0		
	普通預金利息		40	100		
	セミナー	緑土会セミナー	218000	240000	3000円×20人×4回	
		就職支援セミナー参加費	0	100000	5000円×20人	
		就職支援セミナー学生参加費	0	15000	500円×30人	
	校友会助成		320000	490000		
	計		3234484	3599145		
支出	設備備品費		915	5000		
	消耗品費		12604	15000		
	人件費	寄付講座	70000	70000	技術者倫理	
		講師謝礼	50000	50000	海外建設	
		その他	3000	5000		
		小計	123000	125000		
	奨学金		50000	100000	海外研修学生助成	
	通信費		0	0		
	会合費		0	0		
	セミナー経費	緑土会セミナー会場費	15000	30000		
		緑土会セミナー講師謝礼	40000	80000		
		緑土会セミナー会合費	176528	200000		
		就職支援セミナー会合費	0	60000		
		小計	231528	370000		
	緑土会賞		60000	60000		
	その他		2392	3000		
	計		480439	678000		
次年度繰り越し金			2754045	2921145		

校友会からの学科同窓会支援費についての報告と今後の方針

1. 緑土会の財政状況（資料 7－8 参照）

(1) 経常費の現状

- ・ 経常費の赤字額は過去 15 年で平均 20 万円／年、14 年間で繰越金は 810 万円から 500 万円に
- ・ H27 年度は、校友会支援費を除いて、全体として収支トントン
- ・ 近年は、定額預金利息がない
- ・ 総会通信費は平成 27 年度で 17 万円、やや財政を圧迫している（平成 26 年度以前は 30 万円超）
- ・ 総会費用のみ抽出すると、最近の数年は 10 万円程度の赤字

(2) 学術文化基金の現状

- ・ 退職の先生方の浄財と卒業生の寄付が財源。直近では小玉先生ご退職時にご寄付
- ・ 利息収入もほとんどなく、長期的に減少、14 年間で繰越金は 450 万円から 270 万円に

2. 平成 27 年度の支援費の申請内容、助成実績とその取扱いについて（資料 7－9 参照）

申請内容

- ・ 都市工学科と共催のプロジェクトマネジメントセミナー（いわゆる緑土会セミナー）を申請、

助成実績

- ・ 一律支援 15 万円と、就職支援事業として（？）、プロジェクトマネジメントセミナー 32 万円が、申請後の審査により 12 月に執行（資料 7－7）

暫定の取り扱い

- ・ 一律支援は経常費の収入としている
- ・ プロジェクトマネジメントセミナー助成 32 万円は、学術文化基金の収入としている

3. 平成 28 年度以降の支援費申請内容案（資料 7－9 参照）

申請内容

- ・ 役員会・幹事会などの活発な運営活動（運営費用がどこまで支援対象となるかは現状では不明）
- ・ 大学への寄付講座
- ・ 緑土会セミナー
- ・ 就職支援セミナー（現在までのところ、緑土会の収支の枠外の扱い。）
- ・ その他（緑土会活動における学生参加に対する人件費など）

財政健全化に関する調査検討報告

財務部会としては、意見を交換している段階であるが、以下のような意見が出ている

- ・年会費徴収については一部の者の負担増になり、(校友会の)支部会費の徴収もあり、脱会者につながる
 - ・年会費徴収については、多少建設業界が明るいうちに始めたほうが良い
 - ・学術文化基金は運用益での活動が基本で、ゼロベースで考え直す
 - ・学術活動について、収支状況を踏まえて身の丈に合った内容とするべきである
 - ・OB 諸氏が同窓会に何を期待しているかを十分考慮して活動をするべきである
 - ・緑土会の活動のあり方については最近急激に変化しており、多様な意見に耳を傾けることが必要である
- 今後役員や幹事・会員のご意見も広くお聞きして、秋の幹事会・総会に必要な施策を提案したい

1. 寄付等の事例

- (1) 獨協大学同窓会奨学金継続寄付制度：郵便貯金口座から毎月一定額を同窓会奨学金特別会計口座に自動払込みさせていただく制度、支払額は 500 円または 1000 円以上で 1000 円単位の任意額
- (2) 東京女子大学 SS 会費：同窓会費は卒後 50 年で完納、その後も SS 会費として、年会費 2,500 円を基準として複数口を受け入れ
- (3) 公益財団法人県立浦和高等学校同窓会奨学財団：同窓会として公益財団化し、寄付は税額控除又は所得控除の対象となる
- (4) 大学への寄付は税額控除又は所得控除の対象となることから、多数の事例あり

2. 今後の検討事項

(1) 会計のあり方

- 1) 会計報告方式を予算決算方式に改める、平成 28 年度は試行し、平成 29 年度から実施、収支の適正化を予算策定の基本方針とする
- 2) 校友会の支援費は内容的には、経常費に入れるべきものと学術文化基金に入れるものがある、一方赤字体質は学術文化基金であるがその活動は緑土会の主要な活動であるので会計を合体させる
- 3) 名簿については校友会が大学と連携して管理システムを構築することから、紙媒体での発行はしないこととする、今後は個人情報保護しつつ会員が相互につながる仕組みを中心としてゆく、その場合には、名簿会計についても会計を合体させ、緑土会の会計を一本化する。

(2) 経費削減・収入増加策

- 1) 大きな経費は総会費用と通信費であり、これを削減する。
 - 総会参加費を必要経費に対してある程度上乘せして徴収する、参加者増が収入増につながる
 - 校友会の名簿管理システム導入に併せた、メールによる通信の大幅増により、通信費を削減

- 2) 校友会支援費の支援方針を見定めて、それに沿った活動を重点的に行う
 - 学術文化活動については経費を校友会申請事項とし、会員参加費を収入とする
 - 会議交通費については、校友会支援対象となる場合に支給する
 - 会議における飲食費については最低限とし、会議ごとに年間の上限を設定する
- 3) 緑土会の HP に企業広告を載せ、広告費を徴収する

(3) 会費収入など

- 1) サポーター寄付制度（仮称）、学術文化活動は会の主要な活動であり、継続性の観点から収入を得る施策が不可欠
- 2) 校友会の名簿管理システム運用時には、学科同窓会単位での参加が可能なようなクラウドファンディングの仕組みも提案
- 3) 企業等からの寄付、税制上の優遇措置が必須であれば、校友会と連携が必須か
- 4) 終身会費制を年会費制に変更

例えば、年会費を 2000 円とし、卒業時に 3 年分の 6000 円を徴収、その後は毎年請求など同窓会の会費徴収については、継続的徴収の困難さから、年会費制から終身会費制に移行している

学生会員に無断で決めてよいのか？ 在学生や若手会員から反感が出る

以 上



獨協大学同窓会トップ > 同窓会について > 同窓会奨学金 > 獨協大学同窓会奨学金 継続寄付制度

獨協大学同窓会奨学金 継続寄付制度

「継続寄付制度」とは？

継続して同窓会奨学金へのご支援をいただくため、皆さまの郵便貯金口座から毎月一定額を同窓会奨学金特別会計口座に自動払込みさせていただく制度です。

お申込みの流れ

当サイトお問い合わせフォーム、電話・FAXにて同窓会事務局まで申込書を請求

同窓会事務局より
「自動払込利用申込書(郵便局作成)」
「同窓会奨学金継続寄付申込書(同窓会作成)」
の2書類が送付

2書類に必要事項記入・捺印をして、同窓会事務局まで返送

同窓会が郵便局と手続きを行った後、
「自動払込利用申込書のお客様控(郵便局発行)」
「同窓会奨学金継続寄付申込書(同窓会作成)のコピー」
「手続き完了の通知(同窓会作成)」
の3書類が送付

毎月25日に皆様の郵便貯金口座から同窓会奨学金特別会計口座に払込まれる

毎月の自動払込金額

次からお選びいただけます。

- (1)500円
- (2)1,000円以上で、1,000円単位の任意の金額

解約・金額の変更

いつでも解約・金額の変更ができます。

同窓会事務局まで電話、お問い合わせフォームにてお申し出ください。

解約届・金額変更届を郵送いたします。

同窓会の概要

同窓会の活動

住所変更

メールマガジン

同窓会からのお知らせ

7/04 第9回WE♡DOKKYOゴルフコンペが開催されました

6/27 平成28年度同窓会奨学生認定式を開催

6/06 第6回 同窓会主催・キャリアセンター後援ワークショップを開催しました

[過去記事一覧へ](#)

同窓会入会について

同窓会報への広告掲載

同窓会奨学金

獨協大学同窓会奨学金 継続寄付制度

同窓会奨学金
募金のお願い

獨協大学同窓会
メールマガジン

RSS

[ホーム](#) > [同窓会について](#) > [会費・SS会費](#)

会費・SS会費

◆同窓会費をお納めください

年会費2,500円 10年会費25,000円

郵便振替 No.00120-7-52682

三井住友銀行西荻窪支店(普) No.0961060

三菱東京UFJ銀行西荻窪駅前支店(普)No.1991489

口座名義はいずれも 東京女子大学同窓会

☆簡単で便利な年会費自動振替、クレジットカード払いもあります。

※ただし自動振替は年1回 11月27日口座より引き落とします。

会費についてのお問い合わせは事務局まで。Tel 03-3395-4448

◆SS会費のご協力をお願いいたします

同窓会費は卒業50年で完納となりますが、その後もご協力いただける場合は、SS会費としてお受けしておりますのでよろしくご協力いたします。

年会費2,500円を基準として何口でも結構です。

振込先は上記の郵便振替の口座へ。通信欄には「SS会費」とご記入ください。

お知らせ

奨学財団の概要

名 称 公益財団法人県立浦和高等学校同窓会奨学財団

設立年月日 平成25年 6月17日

公益認定年月日 平成25年11月16日

住 所 埼玉県さいたま市浦和区領家五丁目3番3号

目 的 この法人は、埼玉県内の高等学校及び埼玉県立浦和高等学校の在学学生及び卒業生で成績優秀かつ向学心を有する者に対する奨学金に関する事業を行い、青少年の健全な育成に寄与することを目的とする。

事 業 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
(1)奨学金の貸与及び給付
(2)その他この法人の目的を達成するために必要な事業
事業は埼玉県において行うものとする

基本財産 900万円

設 立 者 埼玉県立浦和高等学校同窓会会長 川野 幸夫

8、11月開催の（平成28年度）総会開催に向けての確認事項

- ・開催にあたっての確認事項で会費の徴収方法と金額について
- ・役割分担について
- ・講演会の開催について（開催場所変更によりコストや時間的な余裕が出来たので総会と懇親会の間で講演会の開催の提案）

8-1、開催場所の確認について

- ・学生食堂を確保（定時総会についても学生食堂予定、懇親会は決定）
- ・14時から使用可能なので14時から総会の開始とする
- ・総会については2号館などの教室で開催とする

8-2、当日の予定（11月12日土曜日）

- ・受付開始 13:40より
- ・緑土会定時総会 14:00～14:50
- ・講演会 15:00～16:00
- ・緑土会懇親会 16:10～（総会・講演会が終了次第実施予定）
- ・閉会予定 ～17:30

8-3、講演会の計画

- ・開催場所変更によりコストや時間的な余裕が出来たので総会と懇親会の間で講演会の開催の提案が丸山総務会長よりあり、検討の結果、今回の総会には川井都議会議長（昭和46年卒）に依頼して開催の方向で計画することとなった
- ・小林副会長より川井都議会議長（昭和46年卒）に依頼することとし24日快諾を頂いた

8-4、会費について

- ・会費については、広報・校友会部会と財務部会の提案により、緑土会の活動経費などを検討し決定予定（従来より大幅に低減予定）
- ・総務会として議論を行い「会費5000円、女性会員3000円、学生会費1000円」で幹事会に具申することとした

8-5、今後の広報活動について

- ・担当部会の平本部長、松尾副部長へ段取り打合せを依頼済
- ・早めに広報・校友会部会にて広報活動を行う予定
- ・ホームページ上にも詳細な時間などについて掲載予定
- ・広報上で必要な詳細情報について「時間、会費など」
- ・会費以外について広報・校友会部会にて緑土会ホームページに掲載し広報を開始する
⇒ 校友会ホームページに開催案内を速報で掲載済み

8-6、今後の総会開催準備について

- ・組織管理部会を中心に開催準備を進めていく（平本部長・総会担当副部長）
- ・大学学生食堂の使い方 平面配置図作成、音響確認
- ・議事次第、資料作成、今後のスケジュールについて

8-7、大学関係者、緑土会OBへの出席依頼

- ・三木学長へは6月18日校友会総会・懇親会の席上、小林より出席依頼 秘書を通じて正式に依頼 ⇒ 7月6日 三木学長小林より直接依頼快諾 ⇒ 7日夕方出席
- ・目黒教授（東京大学生産技術研究所）6月18日依頼 鹿児島出張につき欠席
- ・横浜市副市長 今後アプローチ予定

9、その他

- ・ 緑土会ホームページへの「会報 りよくど NO1、2、3」掲載報告
- ・ 緑土会広報活動の改善について（メーリングリストの活用）
 - ・ スケジュールの再確認（総会・幹事会・役員会・代表幹事会など）
 - ・ その他

9-1、緑土会ホームページへの「会報 りよくど NO1、2、3」掲載報告 （と今後の対応）

- (1)、緑土会ホームページへの「会報 りよくど NO1～」掲載について
 - ・ 「会員の皆様の声」「クラス会だより」「在校生・卒業生・先生方の研究発表の広場」「緑土会からのお知らせ」「緑土会役員・代表幹事・幹事の紹介」「緑土会 部会だより」「編集後記」・・・・・・4月中に掲載予定 ⇒ 5月初旬アップロード終了
 - ・ 今回は、先行して掲載することに主観を置き、「題字」や「掲載内容」の変更などは、意見を聞いた上で修正していくこととした
- (2) 緑土会ホームページに対する対応について
 - ・ 緑土会ホームページについては現在、皆川研究室増岡院生1年生と打ち合わせをして作業を行っており今回も依頼（校友会にてアルバイト2名雇用した一人）
 - ・ この作業には緑土会広報・校友会部会が関与することにする（前回総務会決定事項）
 - ・ 広報委員会ホームページ部会 薩川部会長（経営システム工学科）より緑土会ホームページ修正用「IDとパスワード」2名分受領（小林副会長、黒沼会報・HP部会長）
- (3) 緑土会ホームページへの会員の皆さんの投稿を期待
 - ・ 基本的な記事以外に何を掲載するか検討中
 - ・ 会員の皆さんの投稿を期待
- (4) 緑土会広報活動の改善について
 - ・ 緑土会広報活動の改善について（メーリングリストの活用）
 - ・ メーリングリストについては資料参照
 - ・ 緑土会ホームページに新しい伝達事項などを掲載した場合には「メール会員」にメールする形となります。いちいちホームページを閲覧しに行かなくともメールを受領することで把握することが可能です
 - ・ この仕組みを活用すべく総務会に諮り「幹事会にて承認」を貰うことにより緑土会広報活動の改善を図ります

1、「りょくど NO1」発行に当たって

- ・緑土会会長 草柳俊二 挨拶
- ・「会員の皆様の声」「クラス会だより」「在校生・卒業生・先生方の研究発表の広場」「緑土会からのお知らせ」「緑土会役員・代表幹事・幹事の紹介」「緑土会 部会だより」「編集後記」……

2、会員の皆様の声

今回はありません、是非投稿を期待しております。

3、「緑土会役員・代表幹事・部会員の紹介」

緑土会役員・学年幹事については、ホームページや総会資料等でかなり周知されていますが、代表幹事・部会員は、ここ1～2年で創設され活動を開始したばかりです。したがってご存知のない会員の皆さんも多いと思いますので今回役員一覧表と役割について記載します。

4、クラス会だより

学年ごとにクラス会や集まりが開かれていると思います、ただ全員の消息が分かっている訳ではなく、消息を知りたい等の希望もあり、何らかのツールが欲しいとの話も聞こえております。この「クラス会だより」は緑土会卒業生・在校生が自由に活用して頂ければと思います。

第1回目は、昭和43年入学・昭和47年卒業のクラスの同期会の活動に関してです。

5、在校生・卒業生・先生方の研究発表の広場

毎年緑土会では、学部学生3名に緑土会賞、大学院の修士論文発表会で優秀な発表を行った学生に、緑土会優秀発表賞を授与しています。

今回は、大学院優秀発表者3名の修士論文概要集を掲載することにしました。

上村健太郎（地盤環境工学・末政研究室）

石垣拓也（地盤環境工学・末政研究室）

丸林修（水圏環境工学・長岡研究室）

6、緑土会 部会だより

毎回、会報・ホームページ編集部会のメンバーや各部会のメンバーにより「部会だより」をテーマを持って掲載していきます。

第1回目は、黒沼 会報・ホームページ編集部会長です。

7、編集後記

会報・ホームページ編集部会より

1、草柳緑土会会長 15年度土木学会功績賞に選定される（別紙報告）

平成28.5.19（日刊建設工業新聞）

15年度土木学会賞／功績賞に8氏選定／6月10日に表彰式

2、緑土会主催「学生支援会」開催のご報告（別紙報告・写真添付）

平成5月13日金曜日に緑土会主催で「学生支援会」を開催いたしました。90名参加
昨年に引き続いて2回目ですが、緑土会主催としては初めてです。今年は学生の皆さん（41名）
に比べて卒業生の皆さん（47名）の出席が少なかったと感じています。

11月の緑土会総会・懇親会の「中間の会」としての位置付けでもあります。来年も同じ時期に
開催予定ですので、卒業生OBの皆さん同士の懇親の意味でも出席をお待ちしております。

3、緑土会幹事会開催案内（別紙案内）

すでにホームページでもご案内しておりますが、緑土会幹事会を7月12日火曜日開催いたしま
す。学年幹事の皆様には、往復葉書にて案内を差し上げております。
今回は緑土会の活性化に向けて学年幹事の見直しのアンケートにもご回答頂きたく宜しくお願
いいたします。

4、「緑土会役員・代表幹事・部会員の紹介」（再掲示）

緑土会役員・学年幹事については、ホームページや総会資料等でかなり周知されていますが、代
表幹事・部会員は、ここ1～2年で創設され活動を開始したばかりです。したがってご存知のな
い会員の皆さんも多いと思いますので今回役員一覧表と役割について記載します。

5、クラス会だより（今回未掲載）

学年ごとにクラス会や集まりが開かれていると思います、ただ全員の話が分かっている訳では
なく、消息を知りたい等の希望もあり、何らかのツールが欲しいとの話も聞こえております。こ
の「クラス会だより」は緑土会卒業生・在校生が自由に活用して頂ければと思います。

6、在校生・卒業生・先生方の研究発表の広場（再掲示）

毎年緑土会では、学部学生3名に緑土会賞、大学院の修士論文発表会で優秀な発表を行った学生
に、緑土会優秀発表賞を授与しています。

今回は、大学院優秀発表者3名の修士論文概要集を掲載することにしました。

7、緑土会 部会だより（今回未掲載）

毎回、会報・ホームページ編集部会のメンバーや各部会のメンバーにより「部会だより」として
テーマを持って掲載していきます。

8、編集後記

会報・ホームページ編集部会より

1、速報 緑土会総会で講演会を開催

川井しげお東京都議会議員（昭和46年土木工学科卒業）に緑土会総会での講演会依頼決定
平成28年11月12日（土曜日）開催の総会時
総会・講演会・懇親会のスケジュールとし川井先輩に講演を依頼

2、緑土会主催「緑土会セミナー」開催のご報告（別紙報告・写真添付）

6月29日水曜日に緑土会主催で「緑土会セミナー」を開催いたしました。
今年は1回目ですが、通算13回目になりました、次回からの予定は下の通りです。
第14回 8月31日 PPP/PFI 第15回 10月19日 BIM/CIM
一般聴講も可能ですが、是非卒業生OBの皆さんの参加をお待ちしております。

3、緑土会7月定例幹事会開催案内（別紙案内）

すでにホームページでもご案内しておりますが、緑土会幹事会を7月12日火曜日開催いたします。学年幹事の皆様には、往復葉書にて案内を差し上げております。今回は緑土会の活性化に向けて学年幹事の見直しのアンケートにもご回答頂きたく宜しくお願いいたします。

4、緑土会総会・講演会・懇親会開催案内（別紙案内）

すでにホームページでもご案内しておりますが、緑土会総会を11月12日土曜日に開催いたします。場所は今回より東京都市大学世田谷キャンパスで開催します。会費も7月12日の幹事会で確認後正式決定ですが一般OB5000円、女性会員3000円、学生1000円の予定です。是非同期の皆さんをお誘いの上ご参加下さい。詳細なスケジュールは後日連絡いたします。

5、クラス会だより（今回未掲載）

学年ごとにクラス会や集まりが開かれていると思います、ただ全員の情報が分かっている訳ではなく、消息を知りたい等の希望もあり、何らかのツールが欲しいとの話も聞こえております。この「クラス会だより」は緑土会卒業生・在校生が自由に活用して頂ければと思います。

6、在校生・卒業生・先生方の研究発表の広場（別紙）

今回は、丸山教授の「各人各説 地方公共団体の社会基盤施設の維持管理 丸山教授 建設業界2016.6」を紹介することにしました。ご興味のある会員の皆様「建設業界2016.6」を図書館などでご覧下さい。

卒業生で会報・ホームページ編集部会の小田島裕（S53年）副部会長の「土木のしごと」として「伊勢湾岸道 名古屋南JCT～豊明IC間国道23号夜間通行止めによる桁架設工事」にコンサルタントとして設計施工管理に携わられた工事の紹介文を掲載します。

7、緑土会 部会だより（別紙）

今回は会報・ホームページ編集部会の川原麻莉子（H21年）さんです。この部会だよりは毎回、会報・ホームページ編集部会のメンバーや各部会のメンバーにより「部会だより」としてテーマを持って掲載していきます。

8、編集後記（別紙・写真添付）

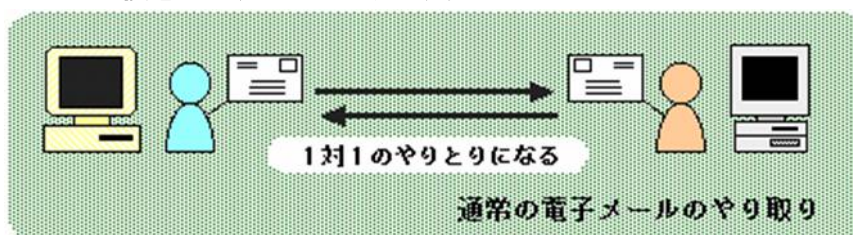
会報・ホームページ編集部会より「会報・ホームページ部会 会合風景写真 20160621」

9-2、緑土会広報活動の改善について（メーリングリストの活用）

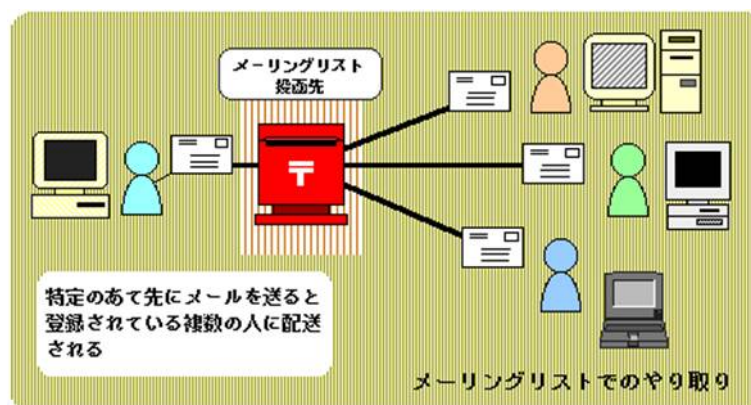
- ・ 複数の人と電子メールでやり取りをする仕組みのこと。
- ・ 気軽なおしゃべりから議論、同窓会の連絡など活用は自由自在。

メーリングリスト(Mailing List)とは、電子メールを使ったインターネット活用法のひとつで複数の人に同じメールを配送できる仕組みのことです。メーリングリストは略して、ML（エムエル）と呼ばれています。若者の間では、メーリングリストをメーリスの愛称で親しまれています。

通常、電子メールを送るときは電話をかけるときと同様に相手に直接メールを送ります。文通などでは1対1でお互いメールの交換をし合うことになります。



メーリングリストでは、ある特定のあて先にメールを送ると、そのメールはあらかじめ登録されている人全員に配送されます。もし、送られてきたメールに返信をすればそのメールも登録されている人全員に送られるので、文通と異なり1対1ではなく複数同士でのメールのやり取りが実現できます。これがメーリングリストの最大の特徴です。



この特徴を利用すると、たとえば特定のテーマを決めてそれに興味を持った人が集まり情報や意見を交換できる場を作ることができます。その他にも、卒業生の連絡や社内のプロジェクトの打ち合わせ、ソフトウェアのサポート連絡など、特に不特定多数の人とのコミュニケーションにメーリングリストは大きな威力を発揮します。メーリングリストの具体的な活用については、「[メーリングリストの主な活用法](#)」で紹介します。

電子メールはインターネットで最もポピュラーな活用手段のひとつです。それを応用したメーリングリストは[流行のブログとは一味違った](#)双方向の情報交換が容易ゆえ、その活用は無限にあります。

9-3、スケジュールの再確認(総会・幹事会・役員会・代表幹事会など)

- ・今年度総会までのスケジュールを今年1月の役員会で仮決定しております。ただ土曜日開催が出席し易いとの意見もありましたが、今回は最終結論として下記スケジュールに決まりました(一部規約改定により出席者が変更になっています)

2015年度

- 2016.1.12(火曜日:実施済) 緑土会役員会・代表幹事会(武蔵工業会館)
- 2016.3.11(金曜日:実施済) 緑土会幹事会・各部部会メンバー会(旧代表幹事会メンバー)
(活動報告・総会場所・日時決定のため・その他)

2016年度

- 2016.4.12(火曜日:実施済) 緑土会役員会・総務会(部会長・副部会長出席)(関東緑土会前)
- 2016.5.13(金曜日:実施済) 関東緑土会(仮称:学生支援会)
- 2016.7.12(火曜日:決定) 緑土会幹事会・部会メンバー会(定例 4ヶ月一回)
- 2016.10.28(金曜日:決定)** 緑土会役員会・総務会(部会長・副部会長出席)・幹事会
(総会前打合せ)
- 2016.11.12(土曜日:決定)** 緑土会総会・懇親会(世田谷キャンパス)
(総会の前は幹事会はありません)

総務会、各部会は、随時開催予定(旧代表幹事出席)

(平成28年度) 緑土会役員会、部会役職一覧表

2016.7.9 現在

役職	氏名	卒業年度	備考欄	役職	氏名	卒業年度	備考欄
会長	草柳 俊二	1967		組織管理部会 部会長	平本 公男	1978	
副会長	小林 哲男	1972		部会顧問	鈴木 高志	1974	
副会長	皆川 勝	1979		副部会長	松尾 史朗	1982	総会・幹事会担当
総務部長	丸山 収	1983		副部会長	萩原 秀司	1983	組織化担当
総務担当	三浦 聡	1984	財務会計担当	部員	洪沢 重彦	1983	
総務担当	伊藤 和也	1998	総務担当	部員	相場 淳司	1984	官庁組織担当
				部員	松本 辰男	1987	
監事	菊地 孝明	1978		部員	服部 尚道	1992	
監事	高田 真人	1979		部員	安済 信吾	1992	
				部員	谷口 修	1996	
総務会 会長	丸山 収	1983	役員職位	部員	山本 純	1995	
副会長	伊藤 和也	1998		部員	増田 博之	2002	
部員	小林 哲男	1972		部員	二村 健太	2009	
部員	皆川 勝	1979					
部員	三浦 聡	1984		会報・HP編集部会部会長	黒沼 良彰	1978	
会長(必要に応じ・代理可)	平本 公男	1978	組織管理部会	部会顧問	木村 充男	1974	
会長(必要に応じ・代理可)	黒沼 良彰	1978	会報・HP編集部会	副部会長	小田嶋 裕	1978	会報分科会担当
会長(必要に応じ・代理可)	高橋 禎夫	1983	学生支援・S部会	副部会長	太田 一三	1981	HP分科会担当
				部員	新藤 修一	1982	
財務部会 部会長	皆川 勝	1979	役員職位	部員	佐藤 貢一	1985	
副部会長	三浦 聡	1984		部員	宮澤 竹久	1986	
会計担当役員	(皆川 勝)		皆川副会長兼務	部員	横田 弘一	1986	
財務部会顧問	菊地 孝明	1978	監事	部員	小口 新吾	1989	官庁担当
財務部会顧問	高田 真人	1979	監事	部員	渡邊 康之	1991	
				部員	久保井公彦	2003	
広報・校友会部会 部会長	小林 哲男	1972	役員職位・校友会幹事	部員	小山 健太	2009	
部会顧問(校友会監査役)	山田 秋夫	1960	校友会監査役	部員	川里 麻莉子	2009	
部会顧問	船越 靖彦	1966					
副部会長	進藤 敏則	1980	学生支援・セミナー部会部会長	高橋 禎夫	1982		
校友会幹事・委員	中荻 豊	1969	校友会委員	部会顧問	丸山 信	1973	
部員	小笠原令和	1977		副部会長	勝田 博敏	1984	学生支援分科会担当
部員	高橋 年秋	1973		副部会長	谷田 孝二	1977	セミナー担当
校友会幹事・委員	谷口 敦	1988	校友会幹事	部員	市毛 一宏	1983	
				部員	鈴木 一功	1988	
				部員	杉山 純	1990	官庁担当
				部員	天田 拓	1991	
				部員	茅野 秀徳	1995	
				部員	武田 大輔	1996	
				部員	小縄 桜子	2009	